

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣 殿

## 地域型住宅グリーン化事業 適用申請書

### 【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。  
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

伊那谷発の家

グループの名称

伊那谷 住まいるの家

直近採択グループ番号

06-0490-0374

(グループ代表者)

代表者名

都築 寛明

代表者印

代表者所属先

都築木材株式会社

代表者所在地

長野県伊那市日影

代表者電話番号

0265-72-3116

(グループ事務局)

事務局事業者名

都築木材株式会社

事務局担当者名

塩澤 賢一

印

事務局郵便番号

396-0009

事務局所在地

長野県伊那市日影336

事務局電話番号

0265-72-3116

事務局FAX

0265-72-3158

事務局担当者E-mail

k.shiozawa@tsuzukicorp.co.jp



B. 平成30年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		1	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	1	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		1	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
	長寿命型	長期優良住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		1	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	1	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		2	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	1	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		1	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
		認定低炭素住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		2	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	1	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		1	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
性能向上計画認定住宅		経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		1	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	1	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		1	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
性能向上計画認定住宅		未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		1	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	1	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限125万円)		1	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸				
			上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸				
		その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)		0	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸				
ゼロ・エネルギー住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限140万円)		1	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	1	戸				
			上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸				
		その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)		0	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸				
C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数		今年度要望する棟数及び面積		0	棟			
					0	m <sup>2</sup>			
			その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積		0	棟			
					0	m <sup>2</sup>			
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	応募前に事前調査を行い、事前応募の事業者様を優先しなかつ、未経験工務店を優先とし、複数の場合抽選とします。								
E. 平成29年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)								
	採択戸数	2	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)								
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)								
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)									
採択戸数	2	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸	
優良建築物型									
採択棟数	1	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0	戸	
採択床面積	175	m <sup>2</sup>	交付申請床面積	0	m <sup>2</sup>	完了実績(竣工予定含む)床面積	0	m <sup>2</sup>	





















1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) <b>伊那谷発の家</b>	(地域型住宅供給対象地域) <b>長野県</b>
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) <b>伊那谷 住まいの家</b>	(結成年) <b>2015 年</b>
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	<b>06-0490-0374</b>	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	寒暖差が大きい地域の為、風土・空間を考慮採光・採風を考慮した、高気密・高断熱の住宅性能を重視し、断熱性等級4とする。(非住宅を除く)	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	凍結深度に対応した基礎(GL-450mm以上)を考慮した設計とする。 断熱性能を高める為、Low-eガラスを標準仕様とし、結露を防ぐ為樹脂窓を推奨する。(非住宅を除く)	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	夏季の暑さ対策として、採光・採風を考慮した窓の配置にする。冬季の寒さ対策とし、断熱効果を高める為、断熱・気密施工の向上に努める。(非住宅を除く)	
④①～③の背景	長野県は、積雪による被害を受ける頻度が比較的高い地域である。概して温暖な気候だが、夏は湿度が高く暑い日が続く、冬は-10℃以下になることも多く温度差が比較的大きい特性をもっている地域の為、冬季のヒートショック対策、夏季の通風対策を考慮した住宅設計を行うことが有効である。	○
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	長野県は長寿県でもあるので、高齢者に配慮した家づくり(バリアフリー等)の提案を行う。	○
イ. 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 資材を有効に活用するため規格寸法の統一を係る。構造木軸の断面において構造チェックを行い適切な構造配置を行う事により断面の規格統一を図る。同一プレカット工場での加工を行う事により加工技術の標準化を図る。	◎
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 合法木材を使用し、木材強度が確保された地域材を構造主要部材に使用する。	◎
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 断熱性能は平成24年基準とし外皮計算及び一次消費エネルギーを算出し評価を得る。	◎
②-1 建材・資材調達の見直し	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 推奨建材リストを設定・活用し、同一製品を共同購買を行い、安定供給ができる体制を整える。	○
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 調達品の見える化により、在庫、仕入先が明確化となり、安定した供給が図れコスト・ダウンを図り安定供給できる体制を整える。	○
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: グループ内で定めた設計ルールに基づき、合理的で安全性を主とする設計を行い検討していく体制を整える。	◎
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局主催で研修会を複数回行い、各種書類の標準書式を作成し、会員各社の事務手続きの合理化・効率化を図る。	○
b		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 瑕疵担保責任保険法人の設計施工基準を基にして、グループの施工基準を整備する。	◎
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ内の確認及び検査、第三者機関による現場確認等、外部との連携、保険法人等の住宅履歴システムの活用を行い、施工管理に努める。	○
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 積算カテゴリに対し明細を提出し、積算根拠の信頼性向上に努める	○
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 上記取り決め等について、運用が困難な事業者に対するサポートを強化する為、商品説明会や技術講習会を複数回開催して認識化を図る。	○
c		
① 週休2日制の導入の取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 毎月2回程度以上を週休2日とするをお願いをする。	○
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 技能向上に向けた講習会を定期的で開催する。	○
③ 社会保険への加入	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事業者様に社会保険への加入をお願いする。	○
④ 安全及び健康の確保のための取組	<input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 安全講習・健康診断を年1回実施する。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	プレカット工場为主要構造材の材料検査を実施する。	◎

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 伊那谷発の家	(地域型住宅供給対象地域) 長野県		
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 伊那谷 住まいるの家	(結成年) 2015 年		
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0490-0374			
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。				
ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備				
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄		
a	① 住宅履歴情報の蓄積	①-1 内容・蓄積の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 建築物の図面・検査記録・施工写真などの情報を蓄積し建設後のメンテナンスに活用する。	○	
		①-2 情報サービス機関の活用 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 建築物の施工情報を住宅履歴登録機関を活用し蓄積を行う。(非住宅を除く)	○	
		①-3 履歴情報蓄積の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 原則㈱住宅あんしん保障の住宅履歴を活用し確認を行う。	○	
	② メンテナンス基準	②-1 点検の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: メンテナンスの時期・項目等についての統一したルール作りをする。	○	
		②-2 補修の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 計画に沿った点検・補修を行う。	○	
		②-3 点検補修実施の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅履歴のアラーム機能を活用を行う。	○	
	③ 住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 各メーカー様による住まいお手入れ勉強会を企画する	◎	
		③-2 DIY体験会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 年に一度の感謝イベント時に実施する	◎	
		③-3 その他の相談会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ構成員のお客様に対して感謝祭等の催し物を企画・開催する	◎	
	④ 維持管理委員会等の設置 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ内に維持管理検討委員会を設置する	○		
	⑤ その他の維持管理の手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 情報・技術等を収集しグループ構成員に適時に発信し、維持管理の為に勉強会等を開催する。	○		
	b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が中心となりグループ内の他の構成員に維持管理の引き継ぎを依頼する。	◎	
		② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事故事例集を用い事故処理・再発防止の講習会の実施	◎	
	その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		リフォームを受注する時に、金額が500万円を超える場合はリフォーム瑕疵担保保険の加入を勧める。	◎
	エ. グループの技術力の向上			
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄		
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 省エネ基準・気密施工等の施工・技術研修会等を開催し、バックアップを行う。	◎		
	②-1 品質管理のための共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 平成28年度省エネ基準と断熱施工講習会の実施・参加	○		
	②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 確認申請等の書類・断熱施工講習受講の確認	○		
	③-1 需給計画の策定 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 今後計画を策定	○		
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 現場施工者の断熱施工講習の未受講者をゼロとする	○		
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が中心となり標準仕様書の策定を行い、バックアップする。	○		
	b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数 昨年度までの終了者数 13 今年度の参加目標人数 8	○	
①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数 昨年度までの終了者数 29 今年度の参加目標人数 5		○		
② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局がグループ構成員へ講習会の日時・開催場所を通知し、受講を積極的に促す。		○		
c	① 新たな技術等の導入 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 必要に応じて外部から講師を招き、新技術導入等に向け勉強会を実施する。	○		
	② 新たな技術等の開発 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 新たな技術等を導入した現場での見学会等を開催してグループ内での共有化を図る。	◎		
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		今年度の技術講習が発表されていない為、グループ独自で実践的な技術施工講習会の実施を行う。	◎	

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 伊那谷発の家	(地域型住宅供給対象地域) 長野県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 伊那谷 住まいるの家	(結成年) 2015 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0490-0374	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与		
【平成30年度対応方針】 ◎、○ 記入欄		
a	① 地域材利用に関する共通ルール(必須) 土台: 桧のみ(長野県/信州木材認証制度又は国内/合法木材証明制度) 柱: 桧・杉(長野県/信州木材認証制度または国内/合法木材証明制度) 梁・桁: 杉・桧・唐松・赤松(長野県/信州木材認証制度または国内/合法木材証明制度)、米松・欧州赤松・米ヒバ(国外/合法木材証明制度) 地域材加算は国産材50%以上とし、板: 床板に国産針葉樹 24mm以上、壁板に国産針葉樹 9mm以上を使用した場合国産材に加算することができる。(長野県/信州木材認証制度または国内/合法木材証明制度)	◎
	② 地域材利用の1棟当たりの割合(必須) <input type="checkbox"/> 50%未満 <input type="checkbox"/> 50%以上 <input checked="" type="checkbox"/> 80%以上	◎
	③ 標準的な地域材の使用部位(必須) 主要構造材: 土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している; 柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している; 梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 羽柄材: 間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している 造作材: 枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している 板材: 壁板、床板等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している	◎
	④ 地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明 地域材の流れ 一部の原木業者、製材業者が海外のため、原木・製材供給者の登録が出来ない。 ※この図は代表的なフロー図の為、例外的に異なる場合がある。	
b	①-1 地域材在庫把握の仕組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が中心になり在庫数量の把握と製造者から情報を集め構成員に伝える。 ①-2 地域材価格の共有の仕組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が中心になり原木業者、製材業者などから情報を集め構成員に伝える。 ② グループ全体における地域材の需給予測 <input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 事務局が中心になり補助対象物件の予定表を作成し需要予測を行う	◎
c	①-1 畳の活用 <input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 従来からの製作量の他に、置敷畳など施工性の良い畳の活用を提案する ①-2 和瓦の活用 <input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 屋根材の他にも古くなった瓦を用い外構や造園などにも活用の提案をする ①-3 襖の活用 <input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: 既存の襖をリニューアルし再利用の提案 ①-4 障子の活用 <input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 断熱・遮熱効果の向上に障子の利用を提案 ②-1 その他地域の伝統的な素材の活用 <input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: 珪藻土・漆喰・天然沸石などの天然素材を使用した塗り壁の活用 ②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用 <input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: 構造部に地域材を使用し、障子・畳等を取り入れ地場産業が活用できる家造りを提案する。	○
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組 <input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 地域の町並みに根差した和モダン調のデザインを提案する。 ② 地域の住まい方の継承につながる取組 <input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: ご近所のコミュニケーションを図る為、縁側等の提案をする。 ③ 地域の街並み形成へ寄与する取組 <input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 木の温もりを感じられる商品を取り入れ町並みと調和を図る取組。 ④ 和の住まいの要素を取り入れた取組 <input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 古くなくても味わいが増す無垢材の家具・建具等を取り入れ日本の伝統色やデザインを提案する。	○
その他	※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。 該当ありません	
カ. その他		
【平成30年度対応方針】 ◎、○ 記入欄		
	東日本大震災の復興に資する取組	建設資材購入を積極的に行う。 ◎
	平成28年熊本地震の復興に資する取組	建設資材購入を積極的に行う。 ◎

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) <b>伊那谷発の家</b>	(地域型住宅供給対象地域) <b>長野県</b>
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) <b>伊那谷 住まいるの家</b>	(結成年) <b>2015 年</b>
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	<b>06-0490-0374</b>	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴  
 ※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。  
 ※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

長寿命型 【長期優良住宅】

認定低炭素住宅要件に維持・管理計画の策定と履歴情報の蓄積



高度省エネ型 【認定低炭素住宅】

- ① 外皮の高断熱化 省エネ等級4
- ② 窓は断熱サッシ+ Low-e ガラス
- ③ 高効率給湯器
- ④ 節水型設備
- ⑤ 節水型トイレ



高度省エネ型【性能向上計画認定住宅】

- ① 認定低炭素要件を向上させ、熱交換型24時間換気システムの導入し気密性能のUPを図る。
- ② 外皮性能はゼロエネ基準とする。
- ③ 認定表示制度の活用



24時間換気システムのイメージ

高度省エネ型【ゼロエネルギー住宅】

住宅版BELS認証の取得  
 認定低炭素要件に太陽光発電システムの導入

太陽光発電4.5K相当のイメージ



BELS認証イメージ

■ 4. 表示の方法について 表示マーク【一戸建ての住宅、共同住宅等】

● 認定一次エネルギー消費量の削減基準と設計一次エネルギー消費量の関係が分かるような表示。

【省エネ基準への適合可否】  
 ● 一次エネルギー消費量削減率と設計一次エネルギー消費量の削減率の適合可否の表示。

【UAEの記載有り】  
 一次エネルギー消費量削減率 12%削減

【「ゼロエネ相当」の表示】  
 一次エネルギー消費量削減率 100%削減

● 建築物省エネルギー性能表示制度の名称

● 削減率に基づき算定された星数の表示。

● 設計一次エネルギー消費量(その他一次エネルギー消費量を除く)の基準一次エネルギー消費量(その他一次エネルギー消費量を除く)からの削減率

● 共同住宅の住棟及び住戸による評価を行った場合は、「この住棟の」、「この住戸の」等と表示。

住戸等による部分評価を行った場合は、当該部分の特定が行える情報の表示。  
 例) ○◎のマンション (●▲可変) 等

エネルギー削減率  
 全体エネルギー削減率 (R) 100%以上  
 太陽光発電を除くエネルギー削減率 20%以上

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。